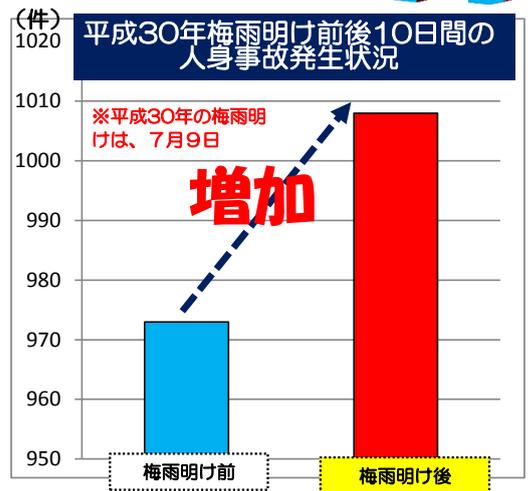
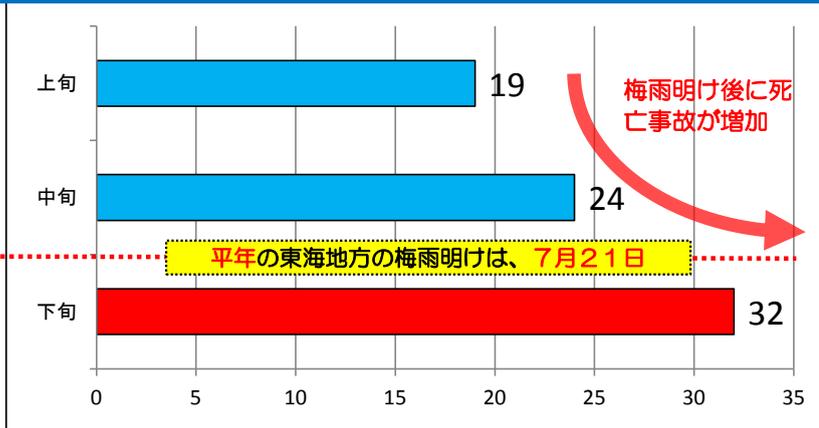


# 交通事故防止のPOINT

# 7月

## 梅雨明け後に交通事故が多発

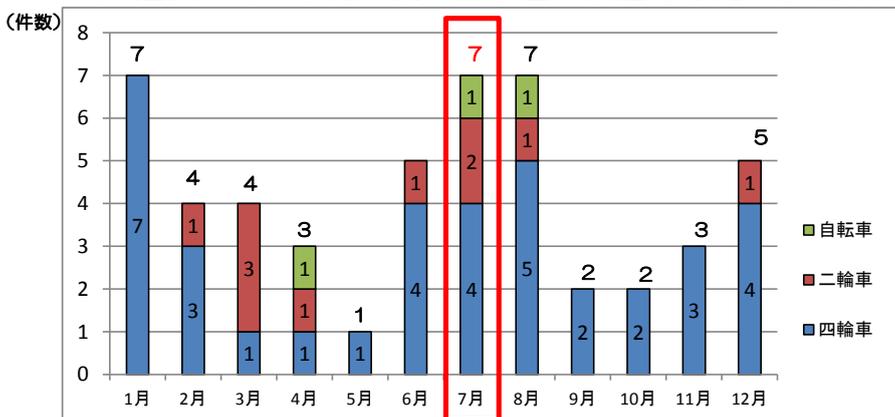
過去5年 7月中の旬間別死者数(人)



## 暑さが本格的となる梅雨明け後に交通事故が多発

### 飲酒関連の死亡事故が多発

過去5年 車両の第1当事者の飲酒あり死亡事故件数



※ 過去5年 (H26~H30) に愛知県において発生した交通死亡事故を分析した結果です。



### 飲酒運転が多発

飲酒運転のほか、歩行者が酔って路上で寝てしまい車に轢かれる事故も発生しています。

東海地方の平均的な梅雨明けは7月21日(気象庁HP)ですが、交通事故は梅雨明け後に多発する傾向があります。梅雨明け後は、暑さが本格的となりドライバーを始め、歩行者、自転車利用者も注意力散漫となりやすいので、早めの水分補給や休憩を取るなど、漫然行動とならないように注意してください。

また、7月は飲酒運転による事故が多発するとともに、歩行者が酔って路上で寝て事故に遭うケースも散見されますので、夜間、特に街路灯などの照明が無い場所を運転する場合は、ハイビームを活用するなど小まめなライトの切り替えや不測の事態にも対応できるよう速度を控えてください。

